



元日の予定

津布久 晃司

起床は六時

あとは分刻み

朝湯三〇分ちようど

おめでとうのあいさつそこそこに

正月の料理一式

年賀状が来て

やあ しばらくの顔たち

なつかしくなって返事

風のように親戚を訪ね

合い間をぬって

娘を相手にカルタとはねつき

記念写真十数枚

シャッター押しながら女房にウイंक

もちろん夜は読書

これが

一月一日の予定の骨子

いままでだったら三日はかかる

おれの正月の最低のつとめだ

この年を

くいることなく生きるおれの

最初の日だ

とにかく

この希望と危機の

つばぜりあいの時代

今年も

わずか三六四日しか残されていない!

(詩人会談会員)

- 2面……海外派遣コンクール入賞者決まる
- 3面……年末年始NHK音楽番組から
- 4・5面……続・祭典特集
- 6・7面……「新春創作座談会」
- 8・9面……「74年の声」一抱負と決意
- 10・11面……「第九」特集

- 12面……「シャデラックス」解散か?
- 13面……各地の活動から
- 14面……大学定演シリーズ(その2)
- 15面……日うた常任委開かる
- 16面……福島合唱団の通信

(写真提供・連合通信)

「あかつきの大合唱」は
七三年から新年に受けつが
れて、山山から海へひびき
わたります。それは、うた
ごえ運動が街から村まで
無数に建設される証し。
▽▽▽
本号は、十二月二十日号
からの合併号です。紙不足
と配達機関の遅れからで、
読者のみなさんには大変ご
迷惑をおかけしています。
「こびすに拡大してネ」
一九七四年元旦

